

不思議なお茶の世界

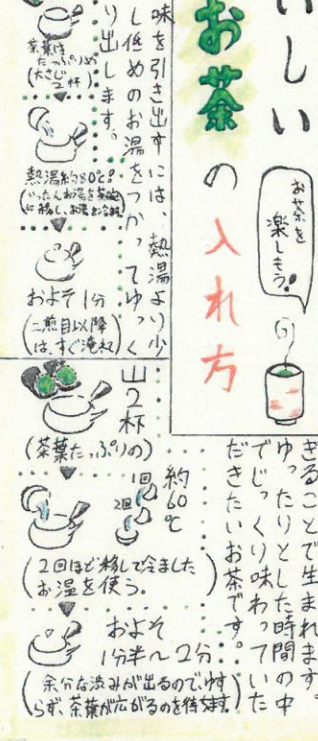
茶の文化と歴史を知ろう!

宇治茶の歴史

鎌倉時代 1760年 陸羽が世界で最ものお茶について説明した本を書く。中国では飲み物として飲まれるようになった。
室町時代 805年 僧の最澄空海が中国・唐から茶葉を持ち帰り、比叡山のほとりに植える。
 1191年 僧の栄西が中国・栄州から抹茶の淹れ方と淹れ道具を日本に伝へる。
 1211年 栄西が淹れ方について説明した書物。
室町時代 足利義満の奨励を受け、宇治に茶園が開かれ宇治茶が広がる。
江戸時代 煎茶の淹れ方を生み出す。
明治時代 玉露の淹れ方が生み出される。
戦後 玉露の淹れ方が生み出される。



抹茶を淹れず、茶室を点す
淹れ方を点す
お茶の淹れ方



淹れ方のポイント
お茶の淹れ方と淹れ道具
淹れ方のポイント



高台寺

私達は実際に茶室を見るため、高台寺に訪れました。高台寺は豊臣秀吉の正室、北政所ねねが考案した淹れ方を生み出した寺です。茶室の建築、時間等は国の重要文化財に指定され、今でも桃山時代の華麗な面影を伝えています。



シンキング ティー タイム

私達は、北川半兵衛までインタビュ-に行きました。北川半兵衛は宇治茶について、工場見学もできお茶・抹茶について、いろいろなことが学びました。インタビュ-では、淹れ方も詳しくお話を聞きました。淹れ方の淹れ方、淹れ道具、淹れ方についてお話を聞きました。淹れ方の淹れ方、淹れ道具、淹れ方についてお話を聞きました。

煎茶 おおいをしない茶園の新芽を、湯で蒸した後、もみながら乾燥させて作ります。さわやかな香りと上品な渋みのある味わいで、良く飲まれています。

煎茶の大きく成長した葉も使用されているため、あっさりとした軽い風味がもち味です。熱湯を使って淹れる気軽なお茶です。

抹茶 うまみを葉っぱには蓄え、茶葉を石臼で細かく挽いたもの。自然がつくりだす鮮やかな緑とみずけの香りやうまみが特徴です。茶室で淹れれば、気軽に淹れることができます。



銀閣寺
銀閣寺の茶室は、日本最古の茶室といわれています。また、北面東側の四畳半は、同仁齋とよばれ、東山文化を生み出した舞臺となり、また草庵茶室の源流、四畳半の間取りの始まりといわれています。ほかに、同仁齋にある書院造りも、日最古のもので、義政は、ここでお茶を楽しみながら、景色を楽しんだといわれています。

私は茶道についての歴史や、その歴史について完成した茶室について調べてきた。銀閣寺や高台寺、北川半兵衛というお茶の淹れ方に興味がある。淹れ方の淹れ方、淹れ道具、淹れ方についてお話を聞きました。

お茶について知ると、高台寺・銀閣寺・インタビュ-に行きました。
高台寺・銀閣寺では、茶室について知りたくて見に行きました。インタビュ-ではお茶についての知識や淹れ方の淹れ方、淹れ道具、淹れ方についてお話を聞きました。

茶室について、銀閣寺や高台寺に行くと勉強することができます。銀閣寺の茶室は、日本最古の茶室であり、とても歴史があり、景色もとても良かった。淹れ方の淹れ方、淹れ道具、淹れ方についてお話を聞きました。

編集後記